

「従軍慰安婦」 映画を通して考える

このところの「従軍慰安婦」の問題についての政治家の発言やマスコミの態度があまりにひどいと思うことが多くて、我慢がなりません。敢えて名前を上げれば、橋下徹さんとか取り巻きの維新の会の人たちとか、その他特にテレビに顔が出てくる政治家や経済人は全てと言ってもいいのですが、このままでは人を信じられなくなりそうです。やはりここははっきり発言しておいたほうがいいなと思って、今回この上映会を企画しました。

歴史的な事実を前にして嘘をつくというのは、人として品性下劣ということになります。歴史的事実を知らないというのなら、そのような無知は政治家である前に人間失格ということになります。

僕は、少なくともそのような人たちに与したくないので、自分がやってきた映画の仕事を通して、今考えていることを発信したいと思います。12月8日、9日の2日間、ぜひオーディトリウム渋谷にお集まりいただければ幸いです。

シグロ代表 山上徹二郎

12月 8 日(土) 10:00~

『ガイサンシーとその姉妹たち』 (80min)

上映後: 翰光監督 × 鈴木邦男 (一水会名誉顧問) さんによるシンポジウム

12月 9 日(日) 10:00~

『戦場の女たち』 (55min)

上映後: 関口監督 × ゲスト(調整中) によるシンポジウム

■会場
オーディトリウム渋谷



■料金(当日のみ)

一般: ¥1,500

シニア: ¥1,200

学生: ¥1,000

リピーター割引: ¥1,000

■問い合わせ先

シグロ

TEL: 03-5343-3101

FAX: 03-5343-3102

siglo@cine.co.jp